



11月2日(木)各学年の総合的な学習の時間から

11月2日(木)は一日、授業を総合的な学習の時間にして、各学年の計画による学習を行いました。

1学年は、今年度より上田養護学校との交流学習ができるようになったため、交流班と体験班に分かれて活動を行いました。交流班の生徒は、上田養護学校中等部の皆さんとの交流会を行い、体験班の生徒は、社会福祉協議会の出前講座「車いす体験」「認知症サポーター」「高齢者体験」を受けました。

2学年は、キャリア学習の一環としての「地域の方に学ぶ、地域とつながる学習」を行い、15の講座を開設しました。

3学年は、地域の一員として「住み続けられるまちづくり」の観点での学びの一環として、地域の清掃活動や、ハザードマップから読み取った危険箇所の確認を行いました。

各学年、地域と共にある一中の学びを止めない学習を進めています。

1学年「上田養護学校中等部の皆さんとの交流」

“みんなに楽しんでもらいたい”という願いのもと、一中1年生が交流内容を考えて、中等部の皆さんとお散歩や、「おにぎりゲーム」や「ドン!ジャンケンポン!」という遊びをしながら、交流を深めてきました。

【生徒の感想】

養護学校の人たちは、最初緊張をしていたけど、交流しているうちに緊張が和らいできたのか、楽しく、笑って交流をして、心を一つにすることができました。



1学年 社会福祉協議会の出前講座「福祉体験」



【生徒の感想】

車いす体験では、実際に車いすを押したり、乗ったりしました。押すほうは段差に引っかかり、スピードの調節が大変でした。乗るほうは、段差のときに前の車輪が持ち上がるので、とても怖かったです。初めて車いすを押したり乗ったりして、車いすを押す人の大変さも、乗る人の怖さもよく分かり、私が思ったよりも大変なのかを知ることができました。



2 学年「地域の方に学ぶ、地域とつながる学習」

中央公民館社会教育指導員や長野経済研究所にご協力をいただき、救命救急法・伝統芸能・体づくり・介護・接客体験・建築・土木・食品加工・プログラミングなどの15講座を開設したキャリア学習になりました。生徒たちは、この学習を通して、専門的な技に触れたり、地域の歴史を感じ取ったりしていました。ある講座は、客のニーズに応えるためのアイデアを出すというお題が出題され、その難しさを感じながらも、一生懸命に考えている生徒の姿がありました。この講座を通して、「一人一人が、一つ一つの仕事に責任をもつこと」や「チャレンジすることが大切であること」等を学んでいました。



3 学年「住み続けられるまちづくり」を学ぶ

地域の方々が今まで自分たちを支えてきてくださったということに着目してきました。地域への感謝の気持ちをもつとともに、地域の一員として、今度は自分たちが地域に対して行えることについて考えてきました。

【生徒の感想から】

・今までハザードマップを自分から見ることはありませんでしたが、ハザードマップって結構大事なんだなと思いました。地図を見るだけでなく、実際危険箇所となっているところに行って、安全に生活できるよう意識することが活かせそうです。あと、最近タバコや缶などのゴミをよく見かけるようになったので、ゴミ拾いがしたいです。秋は落ち葉拾いがしたいです。

・身近な場所についての知識を高め、今後の災害時に備えて行けるようにしたいです。今回調べたものとは逆に災害時に安全なところなども知りたいなと感じました。今回私がした活動はいつ起こるかわからない災害のときにどこが危険かを調べました。いつ起こるかわからなくても備えることはできるのでこの活動で調べたことを今後活かしていけたらなと思います。付け足しで、地域貢献をする中で思ったのが、ただ自分が知りたいと思ったものだけを調べるのではなく(貢献する立場だけでなく)貢献される視点から物事を考えるのもまた違った発見ができるかもしれないと感じました。

